## ■宇都宮商工会議所で製造業の脱炭素社会に向けたセミナーを開催しました。(2021.11.24)■

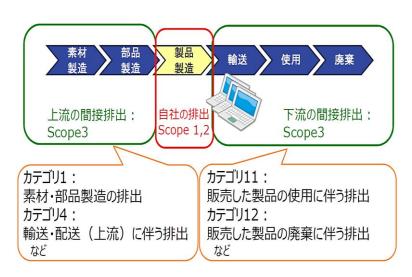
脱炭素社会を向かえ、中小企業の製造業が考えなければならない環境経営について、「つくる責任つかう責任」 「持続可能な経営」への変革が製造業に求められていることについて「加速するカーボンプライシング世界に導 入機運・日本企業も備えを」と題して宇都宮商工会議所でセミナーを開催しました。

## 【概要抜粋】

「カーボンプライシング」とは、CO2排出に価格付けをし、市場メカニズムを通じて排出を抑制する仕組みのことで、代表的なものに炭素税と排出量取引制度があります。既にEU諸国や中国では、排出量取引市場が拡充し1tのCO2価格は高騰を続けています。自社の排出量Scope1.2だけではなく、Scope3を含めたサプライチェーン排出量の算定・削減の公表を外部環境が世界的に形成されています。金融庁は2022年4月に新設される市場再編で、東証のプライム市場上場企業に対してGHG排出量の開示を義務付けることが追加されました。バイヤー(Scope3)は、サプライヤーの原材料や部品製造に関わる排出量(Scope1.2)の提出が問われます。

	CPの代表的な制度	日本国内で の導入状況
燃料や電気の利用(CO2の排出)に対して、その量に比例した課税を行うことで炭素に価格を付ける		
競球温暖化対策 のための税	石油炭素税の特別措置。日本における炭素税の一つ。原油やガス、石炭といった企化石焼料 に対し、CO2牌出置に応じた税率を携す。税率はCO2棟出置1トン当たり289円と、欧 州などで導入されている炭素製と比較すると振い	0
企業ごとにCO2の排出量の上版を決め、上限を終過する企業と下回る企業同で排出量を売買する		0*
#化石価値取引  Jクレジット 取引  JCM(二国間カレ ジット制度)	太陽光や風力、原子力といった非化石燃料エネルギーが持つ価値を売買する	0
	企業などの先進的な対策によって実現したCO2株出別減量を「クレジット」として国が緊撃する制度。クレジットは企業や自治体層で売買できる	0
	連上国と協力して実施した対策によって実現したCO2情出削減量を「クレジット」と して、削減効果を二国間で分け合う制度	0
ゼロエミッション車 クレジット取引	販売するゼロエミッション車をクレジット化し、自動車メーカーに列して一定批率以上 のクレジットの歌標を求めるもの	
	地球運輸化対策 のための段 企業ごとにCO2の排 非化石価値取引 Jクレジット JCM(二届間クレ ジット制度) ゼロエミッション率 クレジット取引 気候変動対策をとる	世球運動化対策

環境省「カーボンブライシング(炭素への価格付け)の全体等」などを参考に作成 ※東京郊、均工最が導入 3とよび(CD)とは、一般化学等(CD)の特別に対して係取付けるアネー語の仕事力





宇都宮商工会議所セミナー開催風景

